

第7回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	平成30年8月3日(金曜日)			開会	9:54		会議場所		別海町議会委員会室1	
				閉会	12:10					
委員の出欠	1 番	小椋 哲也	出席	5 番	松壽 孝雄	出席	6 番	森本 一夫	出席	
	8 番	西原 浩	出席	10 番	小林 敏之	出席				
出席説明員	総務部長		竹中 仁	教育部長		山田 一志	総務部次長		今野 健一	
	教育部次長		石川 誠	教育委員会指導主幹		住吉 幹城	総務課長		今野 健一	
	総合政策課長		佐々木栄典	税務課長		宮本 栄一	防災交通課長		麻郷地 聡	
	西春別支所長		田村 康行	尾岱沼支所長		福原 義人	教育委員会指導参事		根本 渉	
	学務課長		入倉 伸顕	生涯学習課長		石川 誠	学校給食センター長		入倉 伸顕	
	中央公民館長		内山 宏	西春別支所長		田村 康行	尾岱沼支所長		福原 義人	
	図書館長		千葉 宏	郷土資料館長		千葉 宏	総合スポーツセンター館長		石川 誠	
	総合政策課主幹		皆川 学	財政課主幹		角川 具哉	学務課主幹		谷村 将志	
	防災交通課主査		武田 聖士	学務課主査		佐藤 亮	学務課主査		大山 晋作	
	総合政策課主任		金澤 亮太							
委員外の出席										
事務局職員	主幹		松本 博史							

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 10番 小林	9:54 開会
	開催概要説明 出席委員5名、欠席委員0名 【総務部所管事務調査】
委員長 10番 小林	開会あいさつ
総務部長 竹中	前回委員会終了後からの経過の報告 ・県道104号線越え実弾射撃訓練について
委員長 10番 小林	議事1 所管事務調査について
	(1)第7次別海町総合計画について
総合政策課長 佐々木	資料に基づき内容説明 ①第7次別海町総合計画策定にあたって ・目的 ・計画の構成と期間 ・計画策定にあたっての基本的な考え方 ・策定体制について ・策定状況及び予定について ・総合計画の策定手続きについて ②第7次別海町総合計画策定のための現計画点検・評価報告書の説明 ・調査概要 調査の目的及び調査の方法について ・評価のとりまとめ 全体計画、基本目標別の比較、施策の大綱別の評価（上位10項目、下位10項目）
委員長 10番 小林	質疑
委員 8番 西原	2月に議会に報告すると資料に記載されているが、それまでに基本構想及び基本計画の説明はしないのか。
	進捗状況によって、いつ頃説明できるか不明であるため、資料に具体的な時期を記載することができなかったが、2月までの間に2～3回説明をしたいと考えている。
総合政策課長 佐々木	

第7回総務文教常任委員会 要点記録

総務部長	竹中	基本構想については、具体的なものではなく考え方を整理したものなので、基本構想だけだと全容が見えない。今のところは、アンケートの結果などしかお示しできない状況であり、次回全員協議会の場合でも本日と同様の説明にしかならないと考えているが、どの程度説明するべきか委員長と相談して進めていきたい。 （基本構想・基本計画がまとまった段階で）町民側へ説明する機会は、どのように考えているか。 直接町民に説明する機会はないが、審議会組織などにおいて説明することで町民の代表者に対して説明する形になると考えている。 町民の代表者の組織を使って説明するのは確かに現実的だが、パブリックコメントなどを行ってもなかなか意見があがってこない現状がある。議会報告会でまちづくりをテーマとしているので、そこで寄せられた意見を何らかの形で執行機関に示していかなければならないと考えている。 いろいろな意見の中で有益な内容は、ぜひ取り入れていきたい。 アンケートの結果に「日常の買い物が不便」とあるが、不便とは何が不便であると町は捉えているのか。 市街から離れた地域に住んでいる人にとっては、買い物が不便であり、この不便が大きいのではないかと考えている。 ここのところ高齢者の免許を返納した人が増えており、近郊に店があるのか、ないのかという地域較差ではないかと考えている。 デマンド交通のその後の利用状況は。 登録者数は、前回報告した数のままである。デマンド交通を利用していない人のヒアリングを行ったところ、通院しか使えないと内容を誤解している人がいたため、今後周知を継続してしっかり行っていきたい。また、体調不良のため登録したものの、現在は体調が回復したためサービスを利用しなかったという人もい （地方自治法の改正により）総合計画は、議会の議決を経ないということにもなり、策定審議会が最重要な会議と考えるが、審議委員の選定基準と人数を知りたい。 いま選定が進んでいて、全員で28名を予定している。連合町内会の代表、防犯協会などの代表が総務部会、福祉部会にはスワンの家、社会福祉協議会、民生委員協議会、消費者協会などから、産業部会には商工会、農業委員会、農協連絡協議会、漁協連絡協議会、観光協会などから、建設部会には建設業協会、商工会女性部・青年部、同友会、技能士会などから、教育部会には校長会、青年団体連絡協議会、教育委員、文化連盟、体育協会などから委員を選任し、構成する。また、教育部会には、本総合計画に係る町民検討委員会の代表者も加えることとしている。 審議会の委員が出揃ったら資料提供をお願いしたいが、委員長いかがか。 委員のみなさん、資料の要求についていかがか。 （異議なしの声） それでは、資料の提出を後日お願いしたい。 9月定例会まで配布したい。なお、本年3月定例会で条例を一部改正し、部会名が変更になっていることを申し添える。
委員	1番 小椋	
総合政策課長	佐々木	
委員	1番 小椋	
総務部長	竹中	
委員長	10番 小林	
総合政策課長	佐々木	
総務部長	竹中	
委員	8番 西原	
防災交通課長	麻郷地	
副委員長	6番 森本	
総合政策課長	佐々木	
委員	8番 西原	
委員長	10番 小林	
総務部長	竹中	
委員長	10番 小林	
議事2 その他		
案件なし		
休けい 10:50		
再開 11:03		
【教育委員会所管事務調査】		

第7回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	10番	小林	開会あいさつ
教育部長		山田	前回委員会終了後からの経過の報告
			・新任ALT(Assistant Language Teacher 外国語指導助手)の紹介について
学務課長		入倉	新任ALTの自己紹介
教育部長		山田	・パイロットマラソン大会申込み状況について
委員長	10番	小林	議事1 所管事務調査について
			(2)生き抜く力アッププロジェクトについて
教育委員会指導参事	根本		配布資料及びスクリーン投影により内容説明
			①生き抜く力アッププロジェクト導入の背景
			②第2期生き抜く力アッププロジェクトの内容
			③プロジェクトの成果
			④プロジェクトの課題と今後について
			⑤読書活動とNIEについて
			⑥平成30年度別海町子ども会議について
			⑦道徳の授業に加賀伝蔵が採用される件について
教育委員会指導参事	根本		教育委員会としては、点数をあげるための取り組みではなく、結果として点数が上がる取り組みを目指していく。
			質疑
委員長	10番	小林	この発表の内容は、今後どのような場で地域に披露し、内容を伝えていくのか。
委員	8番	西原	各学校に関しては、本プレゼン資料のデータを提供する。また、全教員が所属している別海町教育研究協議会において説明し、一般の人々に対しては、コミュニティ・スクールの取り組みの中で説明していきたい。
教育委員会指導参事	根本		団体がプレゼンを聞くため（出前講座のような）申込みに対応はできるのか。過去に同友会から申し込みがあり対応している。団体からの要請についても対応していきたい。
委員	8番	西原	（秋田県横手市の）視察で得られた有効なノウハウを共有していくのは、別海町教育研究協議会の中で行うことになるのか。また、ノウハウを共有していく努力は、職務となるのか、ボランティアとなるのか。
教育委員会指導参事	根本		協議会の中に研究推進部があり、そこで取り組めないか校長会と協議をしている。協議会は、公設であるので職務に近い。ただし、先生ごとに指導感がそれぞれバラバラであるので、課題となっている。
委員	1番	小椋	ビブリオバトルの管内大会などは考えられないか。全国的に取り組まれているのか。
			ビブリオバトル・・・本を読んで、その感想をプレゼンテーションする対決。別海町教育委員会としての取り組みは、学校ごとに図書室で選定した本を読んで、小中各学校の代表者が集まり、本のプレゼンテーションをし、質疑も子供たち同士で行って、投票を行う。会場全体から最も支持された本を「チャンプ本」とする。「チャンプ本」を含め、各児童・生徒がプレゼンテーションした本を一つのポスターにまとめ広く紹介する。プレゼンテーションのチームは3名としており、本プロジェクトの狙いでもある子供を成長させる効果的な人数構成。ビブリオバトルを通じて、読解力、論理的思考力、説明能力、モチベーションなどを育成する。）
教育委員会指導参事	根本		釧路・根室管内ではまだまだ取り組まれている。根室管内では、別海町が初めて取り組んでいるのではないかと。
委員	1番	小椋	読書は非常に大事だが、同時にこの時代、インターネットの情報を収集する能力、選別する能力も大事であるが対策は。

第7回総務文教常任委員会 要点記録

教育委員会指導参事 根本	教育委員会としては、担当者が研修に参加しており、いま情報を集めている段階である。今後、対策を考えていきたい。 現在は、全国学力テストの点数が重要視されている。教員が視察に行っているか、行っていないかで成績に差が出ているのは、ノウハウが共有されていないからではないかと捉えている。できるだけ多くの先生を研修に参加させてほしい。また、PTAに対して、このプロジェクトの意義、効果を説明してほしい。努力と成果をしっかりと説明していく必要があると考えるがいかがか。 今後、学校と協議して対策を検討していく。多くの先生を視察に派遣すべきとの意見はたいへんありがたい。 予算が少ないのか。 学校現場においても派遣可能な人数の考えがあると思う。今年は中学校の先生、昨年は小学校の先生を派遣している。 視察に行った先生が学校に戻ると、学校が変わっていく様子があるか。発信力のある教員が視察に行くと、学校が変わっていくと感じている。
副委員長 6番 森本	
教育委員会指導参事 根本	
委員長 10番 小林	
教育部長 山田	
委員長 10番 小林	
教育委員会指導参事 根本	
委員長 10番 小林	
教育部長 山田	議事2 その他 寄宿施設についての報告 寄宿施設の状況について報告する。これまで開設後大きな問題はないと考えている。あらたに7月に女子1名が増え、現在男子3名、女子5名、合計8名が入所している。 質疑 部活の帰り道に不都合は起きてないか。 現在、管理人と連絡を密にしているが、特に不都合は確認していない。雨が急に降るときがあるが、管理人が迎えにいくなど対応しており、この件は保護者と管理人で確約をした中で対応している。 （寄宿施設を視察したときに）確か女子の部屋数が少ないと聞いていたが、今後不足する可能性はないか。 今後運営者と協議して対応を検討したい。
副委員長 6番 森本	
学務課長 入倉	
委員 1番 小椋	
教育部長 山田	
委員長 10番 小林	

12:10 開会